

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回和泉創発プラン進行管理会議
開催日時	令和6年9月20日（金）午後1時00分から午後1時45分まで
開催場所	和泉市役所 庁議室
出席者	森吉副市長、吉田副市長、大槻教育長 並木参与、山本危機管理部長、前田市長公室長、土本総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、高橋健康づくり推進室長（藤原子育て健康部長代理）、林田都市デザイン部長、辻教育次長兼生涯学習部長、東教育・こども部長、近藤上下水道部長、岡田消防長、藤原行政委員会総合事務局長、井阪議会事務局長 【事務局】 （政策企画室）門林政策企画室長、田嶋政策・資産マネジメント担当課長、加藤総括主幹、伊賀主事 （財政課）古川総務部次長、左海財政課長、山岡課長補佐 （人事課）奥人事課長、山口課長補佐
欠席者	藤原子育て健康部長
会議の議題	（1）和泉創発プラン進行管理表（令和5年度決算見込みベース）について （2）和泉創発プランの計画期間延長について （3）市長公約事業の状況について
会議の要旨	（1）和泉創発プラン進行管理表（令和5年度決算見込みベース）について 「和泉創発プラン進行管理表（令和5年度決算見込みベース）（事務局案）」が承認され、令和6年第3回定例会総務企画委員会協議会に報告することとした。 （2）和泉創発プランの計画期間延長について 「和泉創発プラン改訂版（期間延長）（事務局案）」が承認され、変更の事務手続きを進め、令和6年第3回定例会総務企画委員会協議会に報告することとした。 （3）市長公約事業の状況について 市長公約事業の取組状況について報告を行った。
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☐ 会議の議長の確認を得ている ☒ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
事務局	令和6年度第1回和泉創発プラン進行管理会議を開催する。和泉創発プラン進行管理要綱第2条第2項の規定により、進行は森吉副市長に願う。
森吉副市長	次第に従って、議事を進める。 次第2．議事（1）「和泉創発プラン進行管理表（令和5年度決算見込みベース）について」事務局から説明願う。
政策企画室 人事課 財政課	資料番号1 「和泉創発プラン進行管理表（令和5年度決算見込みベース）」について、3ページ「1．令和5年度の主な取組実績と今後の収支見通し」、4ページから9ページまで「2．まちづくりの取組実績」、10ページ「3．公共施設マネジメントの主な取組実績」については政策企画室が、11ページ「4．頑張る職員が報われる制度・働き方改革の取組実績」については人事課が、12ページ「5．財政健全化の取組実績」、13ページ「6．収支見通し」については財政課が説明する。 なお、14ページ以降については、資料編となるため参照願う。
近藤上下水道部長	令和6年度末に廃止予定の市内の中山間地域における路線バスの代替交通案について、第4回定例会で補正予算の計上が予定されていることから収支見通しにおいて事業費を見込んでいるということだが、金額はどれくらいを見込んでいるのか。
財政課	概算で年間約5,000万円、令和7年度から令和15年度の9年間で約4.5億円を見込んでいる。
林田都市デザイン部長	代替交通案については、第3回定例会都市環境委員会協議会での報告及び第4回定例会での補正予算を予定している。収支見通しにおいて、概算で年間約5,000万円の事業費を見込んでいただいているが、事業費の精査等を今後とも検討していく。
立花市民生活部長	富秋中学校区等まちづくり構想の推進について、大幅な事業費の増額を見込んでいるが、事業開始が1年遅れることにより、令和14年度までは基金残高に大きな影響はないということだが、もう少し詳しく説明してほしい。

財政課	9月5日に富秋中学校区等まちづくり構想の事業化に係る再入札公告に向けた事業範囲等の見直しについて庁議を開催し、全体事業費としては約41億円の増額を見込んでいる。 昨年の収支見通しと比較すると、令和14年度までの全体事業費は約28.7億円の増額となるが、事業開始が1年遅れることにより、市債の償還も1年遅れることとなり、一般財源ベースでは約2.7億円の増額、公債費については約2.4億円の減額となる。 したがって、一般財源と公債費の合計では、約3,000万円の増額であり、大きな影響はないものであるが、事業費の増額により、後年度の公債費が増額となることから、先行きは楽観できない状況である。
森吉副市長	他に修正等の意見もないため、この内容で第3回定例会総務企画委員会協議会に報告する。
森吉副市長	続いて、次第2.議事(2)「和泉創発プランの計画期間延長について」事務局から説明願う。
政策企画室	資料番号2和泉創発プランの計画期間延長について、1ページ「1.計画期間延長の目的」、2ページ「2.主な変更項目」、3ページから7ページまで「3.変更箇所の概要説明」について政策企画室が説明する。 なお、資料番号3和泉創発プラン改訂版(期間延長)は、水色網掛け部分が現プランからの変更点となっているため、参照願う。
森吉副市長	第6次総合計画は基本構想部分のみの策定となり、次期和泉創発プランや各種個別計画が基本構想を実現していくための施策となるが、第6次総合計画と各種個別計画との整合性について説明してほしい。
政策企画室	第5次総合計画においては、総合計画で描く将来都市像の実現を個別の重点施策と各種個別計画が支えるものとしており、第6次総合計画においてもその関係性は変わらず、第6次総合計画の基本構想を目指していくために各種個別計画と次期和泉創発プランが支える体系となる。 法に基づき策定する個別計画もあるが、総合計画は和泉市自治基本条例において、和泉市のまちづくりの最上位計画として位置付けており、これまでと変わらず計画を策定していく。

森吉副市長	各種個別計画の進め方については、第5次総合計画から変更はないということである。基本構想に大きな変化がある場合については、各種個別計画との整合性を検討していく必要があると考えるが、これまで進めてきている中で、大きな齟齬は認められていないため、これまでと同様に進めていただくようお願い。
森吉副市長	他に修正等の意見もないため、この内容で事務局は引き続き変更の事務手続きを進め、第3回定例会総務企画委員会協議会に報告する。
森吉副市長	最後に、次第3. その他(1)「市長公約事業の状況について」事務局から説明願う。
政策企画室	資料番号 4 公約総括表を用いて、市長公約事業の進捗について説明する。
森吉副市長	次回の進行管理会議で市長公約の総括を予定しているので、各部においては、事務局と連携して対応していただくようお願い。
森吉副市長	和泉創発プランについては、各部において、大きな遅れもなく着実に取り組んでいただいております、大規模事業の事業費の増加もあるものの、令和15年度末の基金残高は30億円を概ね確保できる見込みとなっている。 また、和泉創発プランについては、計画期間を1年延長するということで、残る1年半の期間においても、しっかりと進行管理を行い、引き続きプラン達成に向けて着実に取り組んでいただくようお願い。 なお、先程、承認された「和泉創発プラン進行管理表（令和5年度決算見込みベース）」及び「和泉創発プラン改訂版（期間延長）」については、第3回定例会総務企画委員会協議会への報告を予定しているので、事前の準備等を含め、事務局と連携して対応していただくようお願い。 以上をもって、令和6年度第1回和泉創発プラン進行管理会議を終了する。